

別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立梅島第一小学校 学校長 君塚 清春

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	朝学習 (梅一タイム)	全児童 国語 算数	毎週火 (国語) 毎週木 (算数) 毎週金 (読書)	【指導體制】担任 【取り組みのねらい・目的】国語は、音読することで文章を正しく、はっきり、すらすら読めるようにし、それを視写することにより文章を正確に読み取る力をつける。算数は、計算プリント、百マス計算をすることにより学習内容の復習、計算力アップを行う。 【使用教材】音読用冊子、作文ノート、計算プリント ○つけは時間内に行い、正誤を即確認する。	時間内に行う。	全問正解。 間違いは時間内に直す。
2	継 続	放課後補習教室	算数 2年生 正答率 90%未満 3～6年生 正答率 80%未満 ※1年生は担任が指導	会議等のない日の放課後、週2回平均	【指導體制】担任、専科、学習支援員、地域ボランティア 【取り組みのねらい・目的】単元の学習内容の定着を図る。つまずきをドリルで確認し、解けなかった問題の直しをする。 【使用教材】東京ベーシックドリル、教科書がっちり算数プリント等	時間内に行う。	全問正解。 間違いは時間内に直す。
3	継 続	梅一タイム	全学年 国語	毎週金曜日6校時	【指導體制】担任 【取り組みのねらい・目的】文章力・読解力向上 【使用教材】視写、短作文、文章問題	文章問題テスト	文章問題テスト正答率 80%が8割
4	継 続	間違い直しの徹底	1～6年生 各教科	その都度 教科書の問題、 単元テスト等の 間違いを直す	【指導體制】担任 【取り組みのねらい・目的】間違えた問題をできるようにする。 【使用教材】教科書、単元テスト等	間違い直し後、 確認テストの実施	正答率 100%

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
5	継 続	夏季学習教室	2～6年生 算数 正答率60%未満 ※1年生は担任が指導	夏季休業中の 10日間 各日50分	【指導體制】全教員、学生ボランティア 【取り組みのねらい・目的】事前の算数プリントで苦手な単元があった児童に対しつまづきをドリルで確認し、解けなかった問題の書き直しをする。 【使用教材】東京ベーシックドリル、教科書がっちり算数プリント等	夏休み終了後、確認テストの実施	正答率80%
6	継 続	漢字検定	全学年の希望者	2月検定日＋ 練習日5回 (11月より実施)	【指導體制】管理職、開かれの会担当者、保護者ボランティア 【取り組みのねらい・目的】漢字の読み書き能力の向上、漢字に対する興味・関心の醸成 【使用教材】漢字検定協会の公式問題集	漢字検定	受験者全体の85%以上合格
7	継 続	家庭学習	全学年 全員	毎日	【取り組みのねらい・目的】年度当初に保護者に家庭学習について説明する。家庭学習強化期間を設定し、提出率を確認する。未提出者はその日のうちに休み時間や放課後等で課題を終了させる。	宿題提出状況調査	宿題提出率90%
8	新 規	話し合い活動の充実	国語科を中心とし、教育活動全般	通年	【取り組みのねらい・目的】 低学年：相手の発言を受けて話をつなぐ。 中学年： // 共通点や相違点に着目できる。 高学年：話し合いを通して考えを広めたりまとめたりできる。	教員は授業中の観察から確認する。児童には自己評価を行う。	各学年の達成60%
9	改 善	思考力・判断力・表現力を伸ばす授業	主に国語・算数・理科・社会	通年	①観察・実験、レポートの作成、論述などの知識・技能の活用を図る学習活動を月1回は取り入れる。 ②授業の中で、主要発問に対する自分の考えをノートなどに書く活動を週2回は行う。 ③主に国語で文章の要約を月1回行う。	児童の作品やノートから見とる。	教員による自己評価で ①作品の向上が見られた児童80% ②自分の考えを書けた児童80% ③要約ができる児童70%

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
10	継 続	足立スタンダードに基づく授業	全教職員	通年	足立スタンダードに基づく授業を毎時間行う。	管理職の授業観察や教科指導専門員の巡回指導	足立スタンダードに基づく授業ができる教員 100%
11	継 続	あだち小学生夏休み学習教室	3・4年生の対象 児童	夏季休業中の5 日間	国語・算数について問題集を使った指導を行うことで基礎学力に定着を図る。	指導終了後、達成率確認テストを行う。	テストの達成率10%向上